

<b>緊急時対応ガイドライン</b>	制定日	2005年4月1日
	改訂日	2007年6月1日

#### ．目的

本手順書は、早稲田大学における化学物質による事故その他の緊急事態（以下「事故等」という。）の際の対応手順書を緊急時対応ガイドライン（以下「本ガイドライン」という。）に沿って定め、事故等に直面した際には、対応手順書に則って迅速かつ的確な行動をとり、被害を最小限に食い止めることを目的とする。

#### ．適用範囲

本ガイドラインの記載事項は、早稲田大学内において化学物質を管理し、取り扱うすべてのキャンパスあるいは附属機関等（以下「箇所」という。）に適用する。本ガイドラインは、各箇所において独自に作成する緊急時対応手順書（以下「手順書」という。）の指針を提供するものである。箇所ごとの手順書は、別紙の手順書フォーマットの中に、各箇所ごとの情報を必要に応じて記入して作成してもよい。各箇所で作成した手順書の写しは、環境安全管理課へ届け出ることとし、更新があった場合にも、その都度、環境安全管理課へ届け出ることとする。

#### ．手順書の内容

各箇所で作成した手順書には必ず以下の項目が含まれているものとする。

##### （１）応急措置法

以下の項目についての応急措置の方法が記されていることとする。

- ・薬品によるやけど
- ・薬品が目に入ったとき
- ・薬品を飲み込んだとき

##### （２）火災・爆発が発生したときの対応法

##### （３）地震が発生したときの対応法

##### （４）消火器、電話、救急箱等の安全関連器具類の設置場所

##### （５）近隣医療機関が掲載されている地図

##### （６）緊急連絡網

各箇所において、119番へ通報した場合、あるいは緊急電話番号へ連絡した場合には、必ず総務部に連絡をする。

##### （７）第一報の連絡先

第一発見者がどこに第一報を連絡すべきなのかを迷わないために、第一報の連絡先を目立つように掲示する。

##### （８）薬品保管情報の所在

119番へ通報した場合、事故等発生箇所の薬品保管情報を現地消防署員へ提出しなければならない。また、事故等発生箇所の総務担当箇所は、消防に提出した在庫薬品一覧の情報を化学物質管理責任者にも提出

する。

### ・連絡体制

事故等発生時は、各箇所において作成した緊急連絡網に従って連絡・報告を行う。参考として緊急時における連絡先一覧を表2に記す。

また、出火場所の在庫薬品リストを取り出す体制は、以下の図1及び表1のように、早稲田大学がキャンパス管理・警備を委託している(株)早稲田大学ファシリティマネジメントを経由する体制とする。119番に通報した場合、出火場所に保管されている在庫薬品リストを現地消防署員へ提出できるようにする。また、確実に消防署員へリストを提出するため、表1の2箇所にFAX送信できる体制とする(バックアップFAX送信先については、送信エラー発生時に対応)。

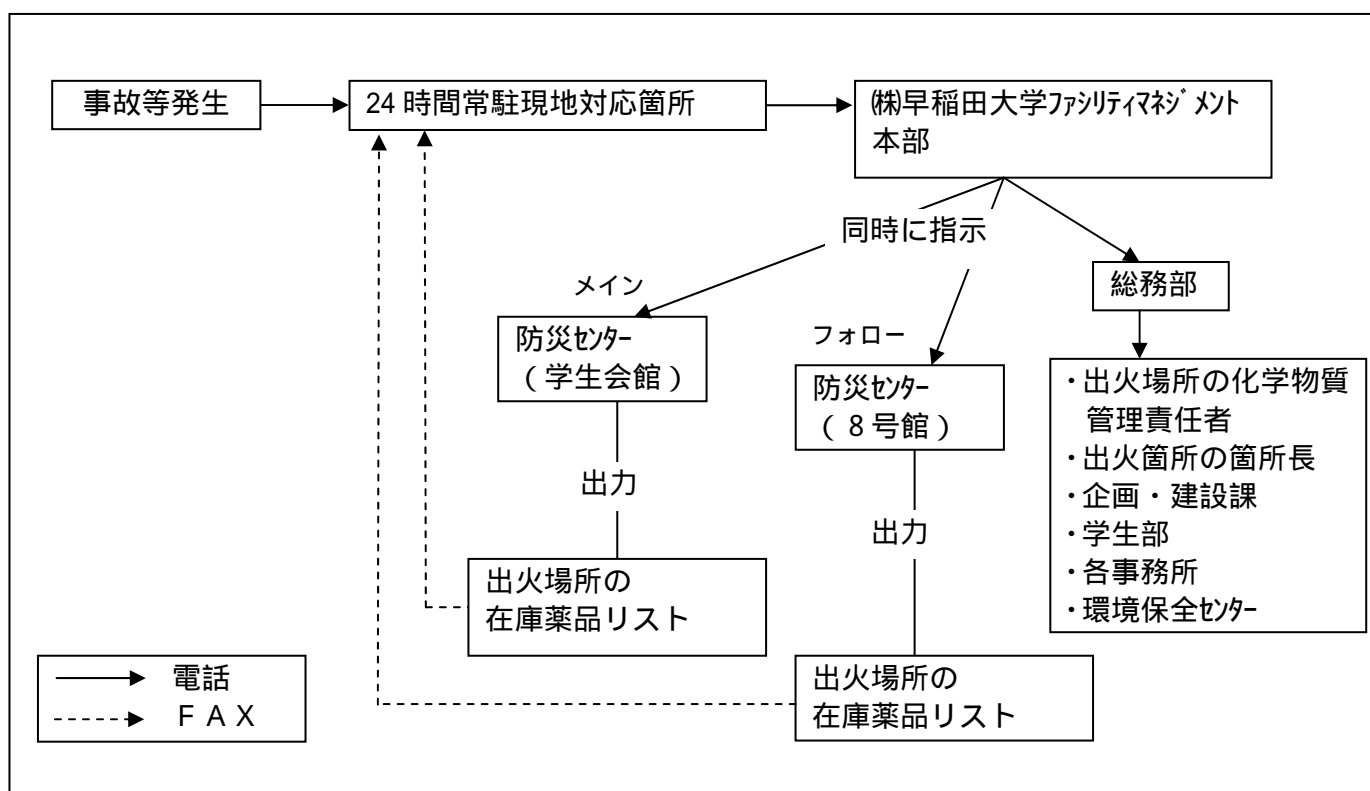


図1 . 出火場所の在庫薬品リストの出力体制

表 1 . 2 4 時間常駐の現地対応箇所一覧

箇所名	現地対応箇所	連絡先	FAX	バックアップ FAX 送信先
西早稲田キャンパス	通用門受付	03-3203-4300 71-2000(内線)	71-4111	8号館防災センターにて 対応
大久保キャンパス	正門受付	03-3209-3221 73-3000(内線)	03-3209-3211 73-4031(内線)	51号館1階守衛室
所沢キャンパス	正門受付	04-2949-7519 76-2000(内線)	04-2949-9975 76-4999(内線)	正門受付 04-2949-7519
東伏見キャンパス	STEP22 コントロール室	042-451-0201	042-451-8640	体育教室棟事務所 042-461-2380
120号館研究開発センター	正門受付	03-3202-9800 79-2000(内線)	03-5286-8372 79-4500(内線)	8号館防災センターにて 対応
材料技術研究所	宿直室	03-3203-4313	03-3205-1353	事務所 74-4450(内線)
理工学術院総合研究所 (喜久井町)	宿直室	03-3203-4659	03-3203-3231 75-4481(内線)	学生会館防災センターにて 対応
情報生産システム研究科 (北九州)	情報生産システム 中央監視室	093-692-5129	093-692-5129	情報生産システム研究科・ 研究センター事務所 093-692-5021
高等学院	正門警備室	03-5991-4170	事務所 03-3928-4110	
本庄高等学院	ドミトリー	0495-25-1643	0495-25-1650	ドミトリ-管理室 0495-24-6199
本庄キャンパス (本庄高等学院を除く)	ドミトリー			

「防災センターにて対応」とは、各防災センターが現場へ資料を持参することとする。

表 2 . 情報提供拠点

拠点	連絡先	
	外線	内線
学生会館防災センター	03-3203-3479	72-3990
8号館防災センター	03-5286-1245	71-2467
戸山キャンパス正門受付 (学生会館防災センターをバックアップ)	03-3203-8701	72-2000

火災や事故が発生したら  
以下へ連絡を！！

第1 緊急連絡先  
(警備室：24時間常駐)

---

第2 緊急連絡先  
(事務所)

---

< 連絡内容 >

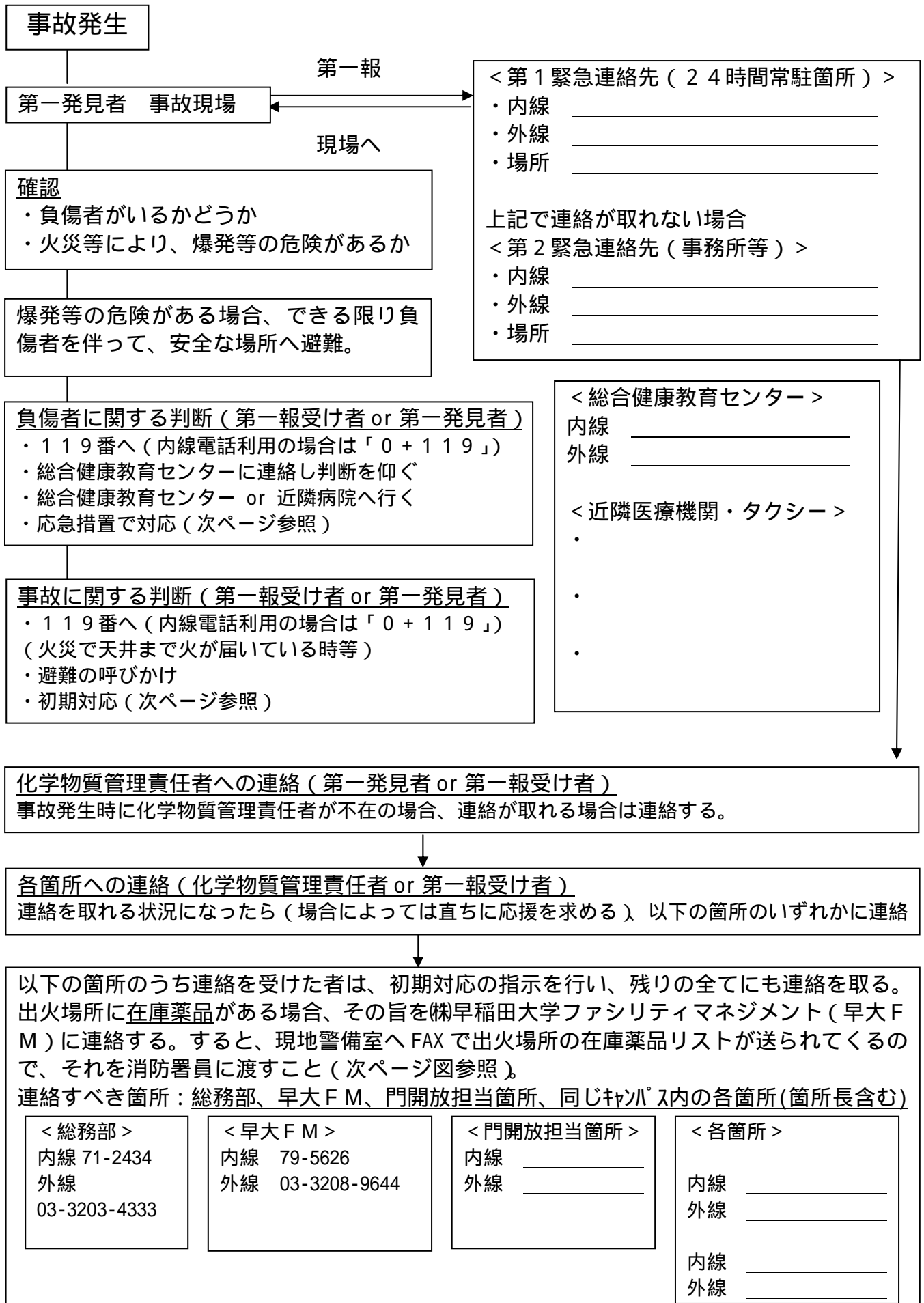
- ・ 自分の氏名、箇所、内線番号
- ・ どんな緊急事態か？（火事、薬品等）
- ・ 怪我人の有無、怪我人の状態

上記番号を携帯電話に登録しておいてください！

担当： (内線 )

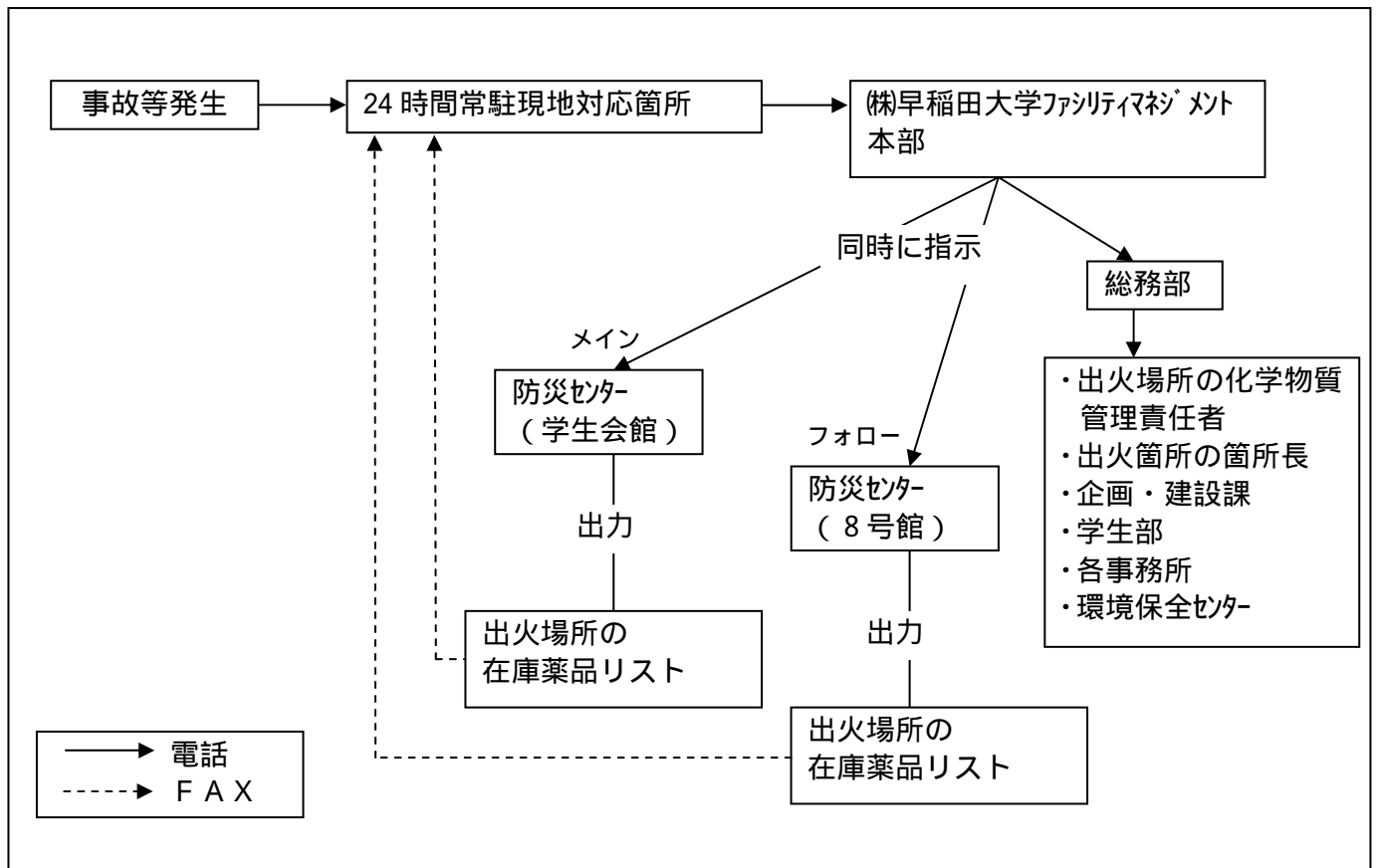
# 緊急時対応手順書（箇所名： \_\_\_\_\_）

## < 緊急時連絡体制 >



## < 緊急時連絡体制（出火場所の在庫薬品リスト出力体制） >

出火場所の在庫薬品リストを取り出す体制は、以下の図及び表のように、(株)早稲田大学ファシリティマネジメントを経由する体制とする。119番に通報した場合、出火場所に保管されている在庫薬品リストを現地消防署員へ提出できるようにする。また、確実に消防署員へリストを提出するため、表1の2箇所にFAX送信できる体制とする（バックアップFAX送信先については、送信エラー発生時に対応）。



図．出火場所の在庫薬品リストの出力体制

表1 . 24時間常駐の現地対応箇所一覧

箇所名	現地対応箇所	連絡先	FAX	バックアップ FAX 送信先
西早稲田キャンパス	通用門受付	03-3203-4300 71-2000(内線)	71-4111	8号館防災センターにて 対応
大久保キャンパス	正門受付	03-3209-3221 73-3000(内線)	03-3209-3211 73-4031(内線)	51号館1階守衛室
所沢キャンパス	正門受付	04-2949-7519 76-2000(内線)	04-2949-9975 76-4999(内線)	正門受付 04-2949-7519
東伏見キャンパス	STEP22 コントロール室	042-451-0201	042-451-8640	体育教室棟事務所 042-461-2380
120号館研究開発センター	正門受付	03-3202-9800 79-2000(内線)	03-5286-8372 79-4500(内線)	8号館防災センターにて 対応
材料技術研究所	宿直室	03-3203-4313	03-3205-1353	事務所 74-4450(内線)
理工学術院総合研究所 (喜久井町)	宿直室	03-3203-4659	03-3203-3231 75-4481(内線)	学生会館防災センターにて 対応
情報生産システム研究科 (北九州)	情報生産システム 中央監視室	093-692-5129	093-692-5129	情報生産システム研究科・ 研究センター事務所 093-692-5021
高等学院	正門警備室	03-5991-4170	事務所 03-3928-4110	
本庄高等学院	ドミトリー	0495-25-1643	0495-25-1650	ドミトリ-管理室 0495-24-6199
本庄キャンパス (本庄高等学院を除く)	ドミトリー			

「防災センターにて対応」とは、各防災センターが現場へ資料を持参することとする。

表2 . 情報提供拠点

拠点	連絡先	
	外線	内線
学生会館防災センター	03-3203-3479	72-3990
8号館防災センター	03-5286-1245	71-2467
戸山キャンパス正門受付 (学生会館防災センターをバックアップ)	03-3203-8701	72-2000

## 緊急事態対応における基本スタンス

### < 緊急連絡先を 1 つに統一 >

第一発見者が曜日や時間帯によって連絡先を迷わないように、24時間常駐している警備室等を第一緊急連絡先とする。離席している場合は、事務所等を第二緊急連絡先とする。第一報を得た者が中心となり、本手順書を参照して緊急対応を行うこと。

### < 人命最優先 >

判断すべき「人命」には、「自分自身・負傷者・対応協力者・キャンパス内構成員・近隣住民」など多数が含まれる。その都度冷静に、最優先にすべき事項を判断すること。

## 日常準備

### < 緊急対応情報の収集（担当：各キャンパスの薬品窓口管轄箇所） >

#### 1．化学物質管理責任者および化学物質安全連絡員の情報

毎年、年度が切り替わるごとに、各研究室から化学物質安全連絡員を選出する。その際には、化学物質安全連絡員に関する以下の情報を収集しておくこと。

氏名

メールアドレス（ .waseda.jp または .waseda.ac.jp を含むもの）

身分番号（学籍番号、教職員番号、社員番号）

化学物質管理責任者および化学物質安全連絡員が担当する部屋番号と内線番号

#### 2．消火器・消火栓・担架・車椅子・救急用品・医療用品所在地

キャンパス内の上記設備器具の所在地を示したマップを作成し、定期的に巡回してチェックを行う。救急・医療用品で不足物があれば、事務所等を通して総合健康教育センターに補充を依頼する。消火器の法定点検・補充は、総務部で行う。

#### 3．近隣医療施設マップ

年に1度、総合健康教育センターに問い合わせるなどして、情報を収集しておく。

### < 同一キャンパス内での緊急時対応の統一（担当：各キャンパスの薬品窓口管轄箇所） >

同一キャンパス内に複数の箇所が存在する場合は、年に1回以上、緊急事態対応を確認し、統一するための連絡会を開催する。



## <緊急時対応手順書の周知（各キャンパスの薬品窓口管轄箇所）>

緊急時対応手順書及び収集した上記情報の一部を「緊急対応ファイル」として、関係箇所へ配布するか、設置するなどして、緊急時に情報が共有できる体制とする。特に、「第一発見者がどこに第一報を連絡するべきか」の情報については、目立つように掲示する。各情報の更新があった場合には、速やかに更新作業を行い、各関係箇所にも通知する。警備室にも「緊急対応ファイル」を設置しておく。

## <各キャンパスの薬品管理体制の運営状況のチェック

（担当：化学物質管理責任者、薬品窓口担当者）>

薬品管理体制が薬品のもれなく円滑に運営されているかどうかについて、化学物質管理責任者が中心となって継続的にチェックしなければならない。化学物質安全連絡員はそれを補佐する。

各部屋の在庫薬品については、該当キャンパスの窓口担当者が在庫薬品一覧を管理する（各研究室の化学物質管理責任者も、各自の研究室の在庫薬品一覧を Web で閲覧することができる）。

また、薬品窓口担当者については、年度が切り替わるごとに確認し、事務局（環境安全管理課）に届け出ること。

## 事故発生時の対応

### <初期対応>

#### 1. 負傷者の確認

第一発見者は、すでに重傷者がいることが判断できる場合は、直ちに119番へ連絡する。

第一発見者は、緊急連絡先（24時間常駐箇所 or 事務所等）へ第一報を入れる。第一報受け者は状況確認のため、「緊急対応ファイル」をもって現場に直行する。

<現場での対応>：全てを一人で行うことはできない。早期に協力者を確保する。

#### 1. 負傷者状況の確認

負傷者の有無、負傷の程度、負傷人数などを確認する。可能ならば負傷者の特定をする。

#### 2. 事故状況の確認

事故規模の確認をし、爆発などの可能性がある場合（例えば薬品保管庫や高圧ガスに火が迫っている場合）、自分自身も含め現場付近にいる者を安全な場所へ退避させる。その際、できうる限り負傷者も伴って避難する（ただし、負傷者を動かすことができない、動かさない方がよいという判断もあり得る）。

事故の規模が大きく、近隣も含めて被害が広がりそうと判断した場合（例えば火災で天井まで火が届いているとき）は、大声で事故の発生を知らせ、避難を促すようにする。また、直ちに11

9 番へ連絡をする（内線電話利用の場合は「0」+「119」）。さらに学内の事務所、(株)早稲田大学ファシリティマネジメント（早大FM） 総務部などに連絡を取り応援を求めるようにする（どこか一箇所に連絡を取り、他への連絡は連絡した相手に任せる）。

### 3. 負傷者への対応

負傷の程度を把握し、119 番に連絡すべきか判断をする(内線電話利用の場合は「0」+「119」)。

119 番に連絡すべきと判断した場合は直ちに連絡する（救急を呼ぶのに躊躇する必要はなく、負傷者本人が救急を呼ぶ判断ができなくなっている場合などは119 番に連絡を取る）。

救急到着までに負傷者の情報（氏名・身分・所属研究室・自宅の連絡先等）を、化学物質管理責任者・事務所・第一報受け者で連携して把握しておく。

救急到着までに救急車への同乗者を確保する（化学物質管理責任者、負傷者知人、応援者等）。

救急到着までに門開放担当箇所へ連絡しておく。

救急が到着した時点で、どこの医療機関に連れて行くのか確認をする。搬送先が判明した時点で、負傷者の関係者（家族等）に搬送先などを伝える。

負傷者本人の意識もはっきりし、救急に連絡するか判断に迷う場合は、総合健康教育センターに連絡をし、判断を仰ぐ。

軽傷とみえる場合は、以下の方法で対応する。素人判断は危険なので、必ず医療機関に行くように伝える。

- ・ [災害対応と応急措置](#)を参照する
- ・ 研究室や事務所等に備え付けてある医薬品を提供する
- ・ 総合健康教育センターを含めた医療機関の一覧を渡し診療を促す（「緊急対応ファイル」に「近隣医療機関マップ」がある）

### 4. 事故への対応

研究室・実験設備に関する事故であれば、化学物質管理責任者・事務所・第一報受け者で連携して事故状況を確認し、化学物質管理責任者から初期対応方法の指示を受け、可能であれば対応する。

化学物質管理責任者や事務所等と連絡が取れない場合で、放置することが危険な状態であれば119 番に連絡。

連絡内容：事故発生箇所（      キャンパス      号館      室） 事故原因、怪我人の有無、事故発生箇所の在庫薬品と高圧ガスボンベの有無

消防が到着するまでに、自分自身の身の安全を確保した上で、初期対応（[災害対応と応急措置](#)、[地震が発生した場合](#)など参照） 避難誘導、各箇所への連絡等、出来る範囲内の対応を行う。各箇所への連絡の際には、門開放担当箇所に救急車が来ることを伝える。また早大FMへ連絡する際には、出火場所の号館・号室を伝え、その部屋の在庫薬品一覧を FAX で警備室まで送ってもらうように依頼する。

消防が到着したら、状況説明をすると共に、FAX で送ってもらった在庫薬品一覧を消防に渡し、消防の指示に従う。

事故の内容によっては、警察などに連絡する必要がある。例えば、出火場所と同じ建物内に放射線施設がある場合、所轄労働基準監督署へ連絡しなければならない。このことについては、環境安全管理課と相談する。

## 5. 関係箇所への連絡

緊急対応が終了した時点で、関係箇所（総務部、事務所、早大FM、同じキャンパス内の他箇所等）に事故報告を行う。2次対応が必要な場合は、前述の連絡を必要最低限に押さえ、化学物質管理責任者や関係箇所と相談しながら対応を続ける。

事故等発生箇所の総務担当箇所は、消防に提出した在庫薬品一覧の情報を化学物質管理責任者にも提出する。

化学物質管理責任者は事故の内容を調査して、最終的に「緊急時対応報告書」を作成し箇所長に送る。箇所長は、緊急時対応報告書を Web 上に公開し、再発防止に努める。

## 災害対応と応急措置

### < 火災・爆発 >

1. 大声で周囲に知らせ、協力を求める。
2. ガスバーナー、電熱器等の火元を止める。元栓も閉じる。
3. 初期消火（消火器、濡れ雑巾など）

油や有機溶媒は水をかけると火が広がることがあるので、あわてて水をかけないこと。

4. 衣服に火がついたときは、もみ消す、脱ぎ捨てる、床に転がる、安全シャワーなどで消火する。
5. 火がすぐに消えない場合は、別の者が3000番へ連絡し応援を頼み、119番への連絡を依頼する。天井まで火が届いているときは消火をあきらめ、避難を優先する。周囲の者にも大声で避難を呼びかける。

連絡内容：状況説明「火災が発生し、天井まで火が届いている。」など

火災等の原因

場所：早稲田大学 キャンパス 号館 室

怪我人の有無（怪我人の状態）

火災発生箇所の在庫薬品、高圧ガスボンベの有無

6. 状況によって扉や窓を閉めて避難する。エレベーターは使用しないこと。

一時避難場所： \_\_\_\_\_

### < やけど >

直ちに冷水、氷水、流水等で受傷部を最低15分間冷やす。場合によっては、総合健康教育センターで処置を受ける。

### < 薬品の身体への付着 >

#### 目に入った場合

どの試薬にせよ、清潔な大量の流水で目を最低15分間洗い流す（アイウォッシャー使用）。

#### 皮膚に付着した場合

直ちに大量の流水で洗い落とす（場合によっては安全シャワーを利用）。

#### 口に入った場合

薬品の種類によって対応が異なる（牛乳を飲む、食塩水を飲む等）。すぐ総合健康教育センターに連絡して処置法を聞く。

## 地震が発生した場合

原則として、早稲田大学大地震対応マニュアルを参照する。

### < 地震発生時 >

まず身の安全をはかる。揺れが鎮静化するまで次の点に注意して冷静に行動すること。

- 1．ドア付近の人はドアを開け、出口を確保。
- 2．窓ガラスの飛散が想定されるので、窓際から離れる。
- 3．衣類・持ち物などで頭を覆い、落下物（蛍光灯等）から身を守る。  
実験室、部室、ラウンジなどにいた場合は、次の点にも留意する。
- 4．熱源、火の元を止める。ただし揺れが大きく、火の始末が不可能なときは、まず身の安全をはかる。
- 5．化学薬品の混触などにより火災が起こった場合は、揺れがおさまってから近くの消火器で初期消火活動を行う。
- 6．火災で一番怖いのが煙である。ハンカチを口にあてる等して絶対に吸わないようにする。

### < 地震鎮静後の対処 >

避難放送や事務所等からの連絡などにより、静かに整然と避難する。大きな地震には余震の可能性が高いので、十分に注意する。避難する場合は、身体障害者や負傷者をサポートしながら、必ず階段を使用して低い姿勢で避難する。ドアは開放したまま避難する。ただし、火災が発生し、消火不能の場合はドアを閉めて避難する。

表2 . 緊急時における各連絡先

	西早稲田キャンパス	材料技術研究所	喜久井町キャンパス	研究開発センター	大久保キャンパス
緊急連絡先 (警備室等)		<内線> 71-2000 (通用門受付) 71-2441 (通用門受付) 71-2434 (総務課) <直通> 03-3203-4300 (通用門受付)		<内線> 79-2000 (正門受付) <直通> 03-3202-9800 (正門受付)	<内線> 73-3000 (正門受付) 73-2361 (正門受付) 73-8020(技術企画総務課) <直通> 03-3209-3221 (正門受付)
門開放 担当箇所	<内線> 71-2000 (通用門受付) <直通> 03-3203-4300 (通用門受付)	<内線> 74-2189 (事務所) 74-2178 (宿直室：夜間) <直通> 03-3203-4782 (事務所) 03-3203-4313 (宿直室：夜間)	<内線> 75-2121 (事務管理室) 75-2199 (警備室：夜間) <直通> 03-3203-9434 (事務管理室) 03-3203-4659 (警備室：夜間)	<内線> 79-2000 (正門受付) <直通> 03-3202-9800 (正門受付)	<内線> 73-3000 (正門受付) <直通> 03-3209-3221 (正門受付)
学内 医療機関	総合健康教育センター 開室時間 9:00 ~ 16:00 内線 71-3000 直通 03-5286-3984				総合健康教育センター (大久保分室) 開室時間 9:00 ~ 16:00 内線 73-2640 直通 03-5286-3021
緊急用 近隣 医療機関	大同病院 (内科・外科・整形外科) TEL 03-3981-3213 URL : <a href="http://www.iryu21.net/daido/">http://www.iryu21.net/daido/</a> 東京女子医大病院 (全科) TEL 03-3353-8111 URL : <a href="http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/index.html">http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/index.html</a> 国立国際医療センター (全科) TEL 03-3202-7181 URL : <a href="http://www.imcj.go.jp/imcjhome.htm">http://www.imcj.go.jp/imcjhome.htm</a> 厚生年金病院 (全科) TEL 03-3269-8111 URL : <a href="http://www.tkn-hosp.gr.jp/">http://www.tkn-hosp.gr.jp/</a>				
事務所		材料技術研究所事務所 <内線> 74-2189 <直通> 03-3203-4782	理工学術院総合研究所事 務所 (大久保) <内線> 73-6109 <直通> 03-3203-7613	研究開発センター総合事務所 <内線> 79-2050 <直通> 03-3204-9054	理工学統合事務所教学支 援課 <内線> 73-2610 <直通> 03-5286-3002
タクシー	京王タクシー TEL 03-3406-7171 グリーンキャブ TEL 03-3203-8181				

	所沢キャンパス	東伏見キャンパス	高等学院	本庄高等学院	本庄キャンパス	北九州キャンパス
緊急連絡先 (警備室等)	< 内線 > 76-2000 ( 正門受付 ) 76-2139 ( 事務センター ) < 直通 > 04-2949-7519 ( 正門受付 )	< 直通 > 0424-51-0201 ( 早大 ファシリティマネジメント ) 0424-61-1172 ( 事務所 )	< 直通 > 03-5991-4170 ( 警備室 ) 03-5991-4205 ( 労務員室 ) 03-5991-4151 ( 事務所 )	< 直通 > 0495-21-2400 ( 事務所 ) < 直通 > 0495-25-1643 ( 早大 ファシリティマネジメント )	< 直通 > 0495-25-1643 ( 早大 ファシリティマネジメント )	< 直通 > 093-692-5129 ( 早大 ファシリティマネジメント )
門開放 担当箇所	< 内線 > 76-2000 ( 正門受付 ) < 直通 > 04-2949-7519 ( 正門受付 )	< 直通 > 0424-51-0201 ( 早大 ファシリティマネジメント )	< 直通 > 03-5991-4170 ( 警備室 ) 03-5991-4205 ( 労務員室 )	< 直通 > 0495-25-1643 ( 早大ファシリティマネジメント )	< 直通 > 093-692-5129 ( 早大 ファシリティマネジメント )	
学内 医療機関	総合健康教育センター ( 所沢分室 ) 開室時間 9:00 ~ 12:00 14:00 ~ 16:00 内線 76-3308 直通 04-2947-6706		保健室 直通 03-5991-4171	保健室 直通 0495-24-8720	総合健康教育センター ( 本庄分室 ) 内線 77-2951 直通 0495-24-6244	
緊急用 近隣 医療機関	所沢救急医療情報 案内 TEL 04-2922-9292 吉川病院 ( 一般内科・一般外科 ) TEL 04-2949-5181 <a href="http://www.yoshikawa-hosp.com/">http://www.yoshikawa-hosp.com/</a>	佐々総合病院 ( 全科 ) TEL 0424-61-1535 <a href="http://www.hospitals-japan.org/sassa/">http://www.hospitals-japan.org/sassa/</a> 武蔵野赤十字病院 ( 全科 ) TEL 0422-32-3111 <a href="http://www.musashino.jrc.or.jp/">http://www.musashino.jrc.or.jp/</a>	日本大学付属練馬 光が丘病院 ( 全科 ) TEL 03-3979-3611 杏林大学病院 ( 全科 ) TEL 0422-47-5511 <a href="http://www.kyorin-u.ac.jp/hospital/">http://www.kyorin-u.ac.jp/hospital/</a>	本庄総合病院 ( 全科 ) TEL 0495-22-6111 <a href="http://homepage3.nifty.com/honjogh/">http://homepage3.nifty.com/honjogh/</a>	北九州市立大学 国際環境工学部 2F 事務 所横 ( 学園都市内 ) TEL 093-695-3350 開室 8:30 ~ 17:00 ( 月 ~ 金 ) 第 2 夜間休日急患セ ンター ( 夜間休日対応 ) TEL 093-662-1759	
事務所	所沢総合事務センター < 内線 > 76-2139 < 直通 > 04-2947-6848	事務所 < 直通 > 0424-61-1172	事務所 < 直通 > 03-5991-4151	事務所 < 直通 > 0495-21-2400	環境総合研究センター < 内線 > 77-2314 < 直通 > 0495-24-6491	情報生産システム研究 科・研究センター < 直通 > 093-692-5017
タクシー	西武バス TEL 04-2994-8180	無線タクシー TEL 03-5984-2001 グリーンキャブ TEL 03-3203-8181		平和タクシー TEL 0495-21-0551		第一交通産業 二島 高須地区 TEL 093-791-0781

